

ぬ
縫いぐるみ Xマスに贈ろう

年 組 名前

諏訪市諏訪中学校の2年生が、同市児童センターに手作りの縫いぐるみを贈りました。生徒たちの気持ちを考えながら、記事を読んでみましょう。

①生徒たちは家庭科の授業で、縫いぐるみをどうやって作りましたか。

②縫いぐるみは、だれに贈るのですか。また、何と書いた手紙を添えましたか。

だれに—

添えた手紙—

③例年の触れ合い体験では、生徒たちはどんなことをしていましたか。触れ合い体験を、何を育む場としていましたか。

例年—

何を育む場—

④今年は動画を見て、何を学びましたか。

⑤瀬戸昂さんは、何と話しましたか。

新型コロナウイルス下 触れ合えなかった乳幼児へ

縫いぐるみ
Xマスに
贈ろう



手作りしたフェルトの縫いぐるみを持つ諏訪中の生徒たち

諏訪中2年生 市児童センターへ手作り品

諏訪市諏訪中学校の2年生約90人は2日、同市児童センターに手作りの縫いぐるみを贈った。同校2年生は例年、同センターで乳幼児と触れ合う体験学習をしているが、今年は新型コロナウイルスの影響で中止。代わりに、今年はクリスマスプレゼントとして縫いぐるみを乳幼児に贈ることにした。

縫いぐるみは家庭科の授業で作った。フェルトを動物や果物などの形に手で縫い、中に鈴などを入れた。縫いぐるみは数個ずつ袋にまとめ、「大事に使ってね」などと書いた手紙を添えた。

例年の触れ合い体験では、生徒が赤ちゃんを抱っこしたり、乳幼児と手遊びをしたりしていた。命の大切さや幼い子を慈しむ気持ちを育む場としていたが、今年は動画を見て小さな子どもの気持ちや接し方を学んだという。縫いぐるみは例年、交流後にプレゼントしていた。

この日は、サンタクロースの帽子をかぶった生徒の代表が、同校を訪れた同センター職員に縫いぐるみを手渡した。瀬戸昂さん(14)は「縫うのは難しかったけれど出来だと思っ。手で持って遊んでもらえれば、鈴の音が聞こえると思っ」と話していた。

(2020年12月3日朝刊・諏訪面)

ぬ
縫いぐるみ Xマスに贈ろう

おく
解答例

年 組 名前

諏訪市諏訪中学校の2年生が、同市児童センターに手作りの縫いぐるみを贈りました。生徒たちの気持ちを考えながら、記事を読んでみましょう。

①生徒たちは家庭科の授業で、縫いぐるみをどうやって作りましたか。

【答え】 フェルトを動物や果物などの形に手で縫い、中に鈴などを入れた

②縫いぐるみは、だれに贈るのですか。また、何と書いた手紙を添えましたか。

だれに— 乳幼児

添えた手紙— 「大事に使ってね」など

③例年の触れ合い体験では、生徒たちはどんなことをしていましたか。触れ合い体験を、何を育む場としていましたか。

例年— 赤ちゃんを抱っこしたり、乳幼児と手遊びをしたりしていた

何を育む場— 命の大切さや幼い子を慈しむ気持ち

④今年は動画を見て、何を学びましたか。

【答え】 小さな子どもの気持ちや接し方

⑤瀬戸昂さんは、何と話しましたか。

【答え】 縫うのは難しかったけれど上出来だと思う。手で持って遊んでもらえれば、鈴の音が聞こえると思う